

青少年体験活動総合プラン

課題

◆現状

- 青少年をめぐる様々な問題
(不登校、引きこもり、ニートなど)

◆原因

- 直接体験の不足
(体を動かす体験、自然体験)
- 生活習慣の乱れ(夜更かし、朝食欠食)
- 希薄な対人関係(保護者の関与が少ない、地域の大人の関与が少ない、仲間との接触が少ない)

要旨

次代を担う自立した青少年の育成を図るため、小学校における長期自然体験活動の指導者養成など必要な支援に取り組むとともに、青少年の様々な課題に対応した体験活動を推進

背景

- 「教育振興基本計画」
(平成20年7月1日閣議決定)
 - ◇放課後や週末の子どもたちの体験・交流活動等の場づくり
 - ◇体験活動・読書活動等の推進
- 「次代を担う自立した青少年の育成に向けて」(平成19年1月30日中央教育審議会答申)
 - ◇すべての青少年の生活に体験活動を根付かせ、体験を通じた試行錯誤切磋琢磨を見守り支えよう

小学校長期自然体験活動支援プロジェクト

①自然体験活動指導者養成事業

【全体指導者：100回、補助指導者：50回】

②小学校自然体験活動プログラム開発事業

【青少年教育施設等の特色あるプログラム開発：20件】

青少年の課題に対応した体験活動推進プロジェクト

- A 自立に支援を要する青少年の体験活動
- B 自律性・社会性を育む交流体験
- C 青少年の発達段階に応じた体験活動
- D 環境教育の推進に資する青少年の体験活動
- E 地域のリソースを活用した青少年の体験活動
- F 省庁連携による地域ネットワーク型体験活動
- G 今後必要とされる指導者の在り方に関する調査研究等 【20件】

地方自治体や民間団体における青少年の諸課題に対応した体験活動の促進